

日本農業情報システム協会が農産物流通の DX 化を テーマにシンポジウムを開催

一般社団法人日本農業情報システム協会（東京都新宿区、代表理事：下村豪徳、以下 JAISA）は、農林水産省、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、公益社団法人日本農業法人協会など複数の団体の後援を受け、2026年5月14日（木）13:30から、日比谷コンベンションホールにて「スマートアグリシンポジウム in 東京 2026」を開催いたします。

近年、スマート農業という言葉が定着し、栽培現場における ICT 活用や生産性向上は一定の成果を見せ始めています。一方で、農産物の出荷・流通の現場においては、依然としてアナログな業務が多く、デジタル化の遅れが課題となっています。そこで今回は、生産現場のデータをいかに流通・販売へとつなげ、価値に変えていくかという「農産物流通の DX」にフォーカスを行います。

基調講演としてスマートフードチェーンプラットフォーム「Ukabis」の取り組みを紹介するとともに、出荷現場（JA）、卸売市場システム、そして実需者（仲卸・小売）それぞれの視点から、データ連携による流通最適化の実践事例を共有いただきます。また、本年度のスマートファーマーアワード受賞者の紹介を通じ、先進的な農業経営者の取り組みを発信いたします。

スマートアグリシンポジウム in 東京 2026

開催日時	2026年5月14日（木）13:30～16:30（受付・開場 13:00～）
開催形態	現地会場開催（後日 Podcast にて配信予定）
開催場所	現地会場：日比谷コンベンションホール 〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 東京都千代田区立日比谷図書文化館内
主催	一般社団法人日本農業情報システム協会
後援	農林水産省 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 公益社団法人 日本農業法人協会 株式会社 日本政策金融公庫 一般社団法人 日本食農連携機構

	NPO 法人 日本プロ農業総合支援機構 一般社団法人 iCD 協会
定員	200 名様（先着順）
参加費	無料
参加資格	一般（農業に関係のある方）
参加申込方法	<p>下記リンク先のフォームに必要事項を入力の上、お申込みください。 https://jaisa.org/smartagri_symposium_2026_tokyo/</p> 
申し込み期限	2026 年 5 月 13 日（水）
プログラム	<p>基調講演 データ連携による農産物流通のデジタル化と「Ukabis」の展望 一般社団法人スマートフードチェーン推進機構 代表理事 折笠 俊輔</p> <p>講演 1 出荷現場の DX ～「みどりクラウドらくらく出荷」導入による業務効率化～ ひろしま農業協同組合 営農販売部園芸課 課長 宮木 佳樹</p> <p>講演 2 市場流通のデジタル化と Ukabis 連携 都築電気株式会社 テクノロジーソリューション統括部 インダストリーサービス部担当部長 青木 謙介</p> <p>講演 3 販売現場におけるデータ活用と実需の視点</p>

	<p>株式会社大治 代表取締役社長 本多 諭</p> <p>パネルディスカッション 生産から食卓までをデータで繋ぐ ～スマートフードチェーンの実現に向けて～ ファシリテータ：一般社団法人日本農業情報システム協会 理事 持田 宏平</p> <p>情報提供 1 食料システム法に関する事業のご紹介(仮) 農林水産省大臣官房新事業・食品産業部企画グループ</p> <p>情報提供 2 展示企業による製品・サービスの紹介</p> <p>情報提供 3 第 6 回スマートファーマーアワード受賞者紹介</p>
<p>展示</p>	<p>[スマート農業システム IIJ MITSUHA] 株式会社インターネットイニシアティブ 水田の水管理、露地栽培の土壌水分、気象モニタリング、水路や機場の水位監視、機場等の制御盤の遠隔監視、獣害対策等を 1 台のゲートウェイで統合的にモニタリング、制御が可能なシステムをご提案します。 また、これらのデータを分析し、生育状況や予測システムを独自開発しています。IIJ のデータ連携基盤を通じて生産現場のセンシングデータ、予測データを物流、販売につなげることが可能です。</p> <p>[営農タスク標準を活用した人材育成・評価・採用] 有限会社トップリバーアカデミー 農業の人材育成課題を解決する実践的フレームワーク「営農タスク標準」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成（個別最適な育成計画と効率的な技能向上） ・人事評価（客観的で透明性のある評価でモチベーション向上） ・採用活動（能力の事前把握と育成環境の PR で定着促進） <p>の 3 分野で活用する方法をお話します。</p>

[現場データの活用から集出荷業務までを支える農業 IT ソリューション]

株式会社セラク

みどりクラウドでは、圃場の温湿度や日射、土壌水分などの環境データを可視化し、栽培管理の判断材料として活用できます。らくらく出荷では、収穫物の集荷、選別、出荷に関わる情報を整理し、現場のオペレーション効率化を支援します。本展示では、圃場管理から出荷業務まで、農業現場におけるデータ活用の具体例として、各サービスの機能と活用シーンをご紹介します。

[新製品展示・Raspberry Pi 活用デモ]

メカトラックス株式会社

メカトラックスは、業務用途・産業用途に特化した Raspberry Pi (ラズベリーパイ) / LTE 通信ソリューションを提供する技術会社です。Raspberry Pi の機能を拡張する通信・制御モジュールの提供から、試作や小ロット製造まで、業務用途での活用を支援しています。

今回は、リリースしたばかりの新製品【ラズパイ対応センサシリーズ】をはじめ、当社製品を多数展示いたします。併せて、Raspberry Pi と自社製品を活用した IoT デモンストレーションを行います。リリース前の新製品もお持ちいたしますので是非ご覧くださいませ。

◆本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人日本農業情報システム協会 事務局

(株式会社セラクみどりクラウド事業部内 担当 持田)

お電話 : 03-6851-4831 (平日 9:00~18:00)

E-mail : event@jaisa.org

問合せフォーム : <https://jaisa.org/contact/>